

芸術工学部（映像研究室/映像によるまちづくり）が 子ども青少年局と連携してヤングケアラー啓発動画を制作しました！

芸術工学部 栗原研究室（映像研究室/映像によるまちづくり）の学生が制作したヤングケアラーの啓発動画が名古屋市のYouTubeチャンネル「まるはっちゅ〜ぶ」に掲載されています。

芸術工学部 栗原研究室（映像研究室/映像によるまちづくり）は活動を通してSDGs達成に向けた様々な活動に取り組んでいます。

○ヤングケアラーとは（名古屋市HPより抜粋）
本来大人が担うと想定されている家事や家族の世話などを日常的に行っているこどものこと。

責任や負担の重さにより、学業や友人関係などに影響が出てしまうことがあります。

※詳細は名古屋市HPをご確認ください。

<https://www.city.nagoya.jp/kodomoseishonen/page/0000165133.html>



ヤングケアラー
当事者の視点編



ヤングケアラー
周囲の視点編



Human Feedback プロジェクト2024を東山動植物園と共同で開催しました！

2024年3月3日（日）世界野生生物の日にSDGsセンター主催で【Human Feedbackプロジェクト「動物と人の共存」】（共催：東山動植物園）を開催しました。

1995年から始まったこのプロジェクトは、「人の医療を動物に還元する」をテーマに東山動物園をはじめ全国の様々な動物園と共に活動が続けられています。

○本プロジェクトを企画された尾崎先生（看護学研究科教授／西部医療センター前副病院長）のコメント

この度、満を持して第1回の講演会を開催することができました。県内をはじめ遠方からも熱心な動物ファンの皆さまに駆けつけていただき、たくさんの熱いメッセージや継続開催を希望する声をいただきました。

皆さんの関心の高さに触れ、この活動の意義を改めて感じました。今後も継続して開催し、動物とヒトとの共存について皆さまと一緒に考える場としていきたいと思います。



総司会を務める
尾崎先生



シンポジウム内の講演会の様子
当日は会場が満席になるほど
参加者が詰めかけました



なごや生物多様性シンポジウム2024を開催しました！

「なごや生物多様性シンポジウム2024～みんなでつなごう生物多様性の未来～」を、3月24日(日)に田辺通キャンパスで開催しました（主催：名古屋市立大学生物多様性研究センター、環境局生物多様性センター）。12校の高校・大学からの約100名の参加者を含め、200名以上が来場しました。

前半には、2025年に改訂予定の名古屋市版レッドリストについて、各分類群を担当する専門家から現状を報告する希少種報告が行われ、後半には、名古屋市立大学の研究者による生物多様性やSDGsに関する研究発表が行われました。

前半と後半のインターバルでは、高校生や大学生等によるポスターセッションが実施され、多くの来場者に対して熱心にポスターや展示物を説明する姿が見られました。参加したある高校生からは「日々の取り組みを発表できる貴重な機会をもらえてうれしい。今後の活動の励みにしていきたい」という感想がありました。

今後もSDGsセンターは、学内の様々な部署と連携し、SDGs達成に向けた活動を推進していきます。

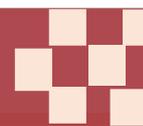


シンポジウム内の名市大発
研究発表の様子



ポスターセッションの様子
来場者と生物多様性について
ディスカッションする貴重な
場となりました





コラムの第3回目、今回は本学の大学ウェブサイト注目してみましょう。教職員の皆様は日々何気なくご覧になっていると思いますが、本学のウェブサイトはあらゆる人に適切な情報を提供するための様々な工夫がされています。

他大学に比べて非常にシンプルに見える本学のウェブサイトですが、これにも理由があります。一例をあげると動画や画像(バナー)による負荷を少なくし、ウェブページを軽量化することで読込速度が上がります。このように通信環境の差が原因で発生するユーザーのストレスをできる限り少なくすることができます。

その他にもウェブアクセシビリティ(利用者の障害などの有無やその度合い、年齢や利用環境にかかわらず、あらゆる人々がウェブサイト上で提供されている情報やサービスを利用できること)にも配慮した運用が心掛けられています。

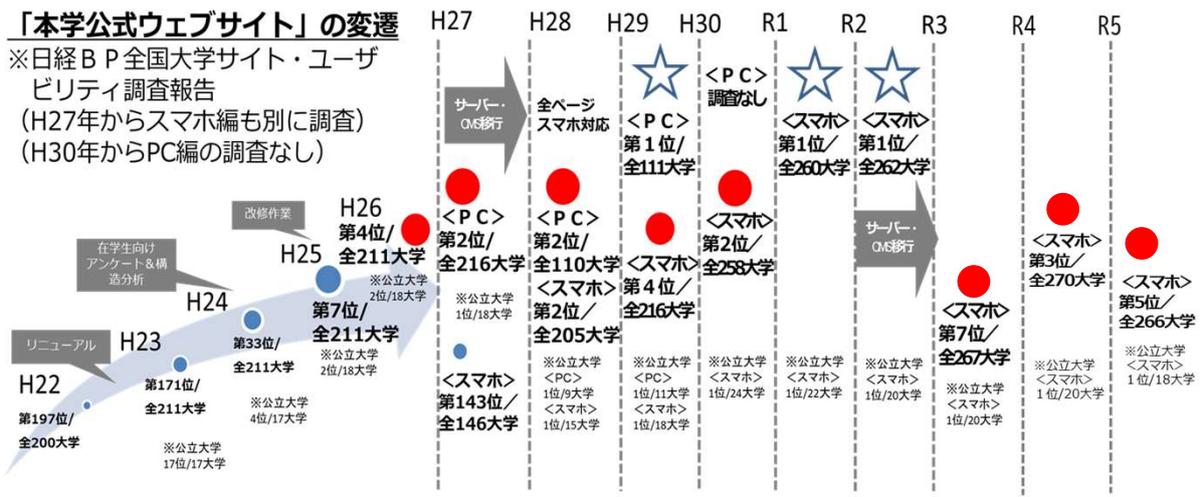
その結果として本学のウェブサイトは、使いやすさや実用性の観点から大学のスマートフォン・サイトを評価する「大学スマホ・サイトユーザビリティ調査」において、近年高い評価をもらっています。「使いやすさ」と「分かりやすさ」に力点を置いた本学のウェブサイトは大学全体の協力の下で運営されています。

○関係リンク：<https://www.nagoya-cu.ac.jp/about-news/20231107/>



「本学公式ウェブサイト」の変遷

※日経BP全国大学サイト・ユーザビリティ調査報告
(H27年からスマホ編も別に調査)
(H30年からPC編の調査なし)



※大学スマホ・サイトユーザビリティ調査：日経BPコンサルティングにより実施。大学サイトを8つの診断指標によりスコア化し診断する調査。対象の大学サイトは、国立・公立・私立の266校。



SDGsセンター長
林 秀敏 先生

インターネットの普及により、ウェブサイトによる情報提供が主流となっています。本学のウェブサイトは受験生等の若年層から、市民公開講座を受講される高齢者、英語サイトは海外からも閲覧されています。SDGsの理念は「誰一人取り残さない」です。身近なこと、小さいことから意識して業務に努めていきましょう。

お問い合わせ

名古屋市立大学SDGsセンター事務局
(企画課内)

〒467-8601 名古屋市瑞穂区瑞穂町字川澄 1
Tel : 052-853-8806
Mail : ncu-sdgscenter@sec.nagoya-cu.ac.jp
<https://www.nagoya-cu.ac.jp/sdgscenter/>

